

事例研究報告

小学部3年生に
洋式トイレで排尿することを教える

児童・生徒の実態

- 小学部3年生 知的障がい 自閉症スペクトラム
- 童謡を聞いたり動画を見たりすることが好き。
- 発語はなく、「おねがい」の言葉かけを聞いて「お願いポーズ」で援助要求を伝えることができる。
- 「立つ」「座る」などの簡単な言語指示が分かる。
- 拒否は泣いて伝えることが多い。
- 拍手やハイタッチをすることで称賛されていることが分かる。
- スケジュールの理解（活動内容, 上から順に並んでいること等）が乏しく、見通しを持つことが難しい（4月当初）。

<排泄の実態>

- トイレでの排泄に強い拒否を示し, 学校でも家庭でもオムツでの排泄にこだわっている。
- 就学前施設ではオマルで排尿していたが, 入学後はトイレに入ることに對しての拒否が強くなり, オムツで排泄してトイレでオムツを替えている。

保護者の願い

- トイレで排泄してほしい

教員の願い

- 洋式トイレを使用して排尿する
- スケジュールを理解し一人で活動の切り替えをする
- スケジュールを確認して見通しを持って活動する

アドバイザーからの助言

- オマルでの指導時に、頻繁に水分補給をして、アクシデント的に排尿が起きるような環境設定をする
⇒トイレの中で楽しく過ごせる工夫をする
- 排泄のモデリング動画（排泄の過程やトイレでできた後にご褒美をもらう様子など）を見せる
- オムツでの排尿がないこと（オムツが乾いていること）を称賛する
- 失敗しても叱らず、オマルやトイレでできた時に大いに称賛する
- 記録を取り、排尿しやすいタイミングを探る

助言を受けての見直し

指導

- 2日間の指導日（排尿があるまでオマルに座って過ごす）を設定。お茶やジュースなどの水分をたくさん飲むようにし、楽しく過ごせるように動画を見たり音楽をかけたりする。
- トイレトレーニングの動画を見せる。

称賛方法

- オマルで排尿できたときに、「拍手+頭を撫でる」で称賛に統一。
- オムツが乾いているときは、オムツを触って確認させてから称賛。

記録

- トイレに行った時刻, 排尿の回数, オマルに座ってから排尿するまでの時間
- トイレでの排尿あり(+), なし(-)
- オムツへの排尿あり(+), なし(-)

指導の手続き

	環境設定	称賛方法	記録
BL①	洋式トイレ		
BL②	洋式トイレに補助便座		時刻, オムツ+-
BL③	オマル		時刻, オムツ+-
介入①	オマル	・排尿したらすぐに「拍手+頭をなでる」	時刻, 排尿までの時間・回数, オムツ+-
介入②	洋式トイレに補助便座	・排尿したらすぐに「拍手+頭をなでる」 ・オムツ-を称賛	時刻, 排尿までの時間・回数, オムツ+-
介入③	洋式トイレ	・排尿したらすぐに「拍手+頭をなでる」 ・オムツ-を称賛	時刻, オムツ+-

指導の手続き

- 【介入①】・ 排尿があるまで以下を繰り返し実施（～3回目）
（オマル）
- 1) お茶やジュースで水分補給
 - 2) お菓子を食べる
 - 3) トイレトレーニングの動画を見る
 - 4) 好きな動画を見る
 - 5) 新しい課題（ひらがなマッチング）をする
- ・ 排尿を待つ（タイマーで5分計測）

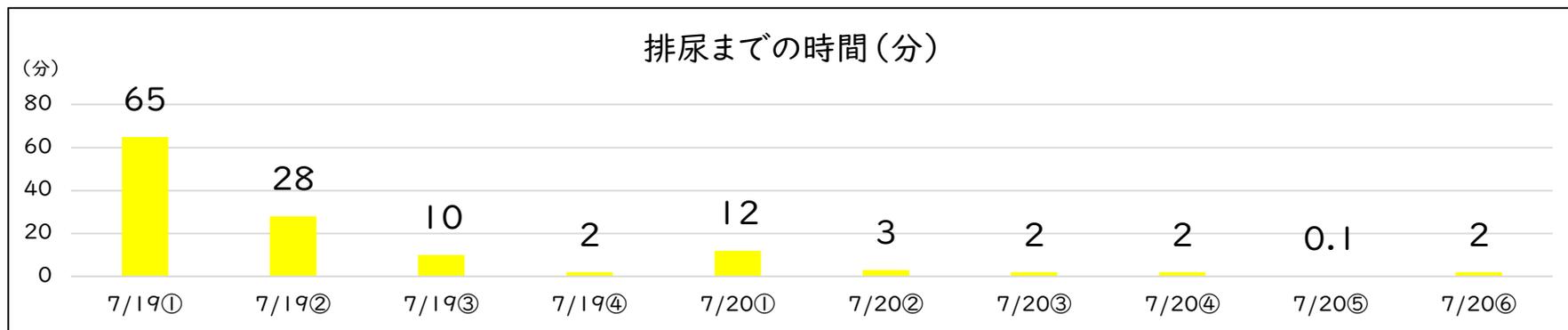
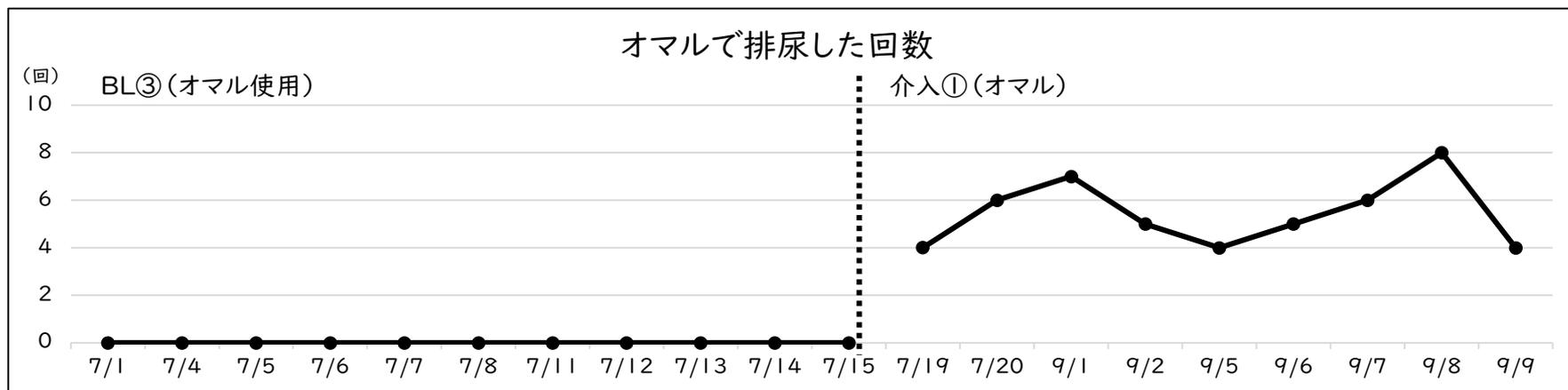
- 【介入②】・ 排尿があるまで以下を繰り返し実施（1回目のみ）
（洋式+補助便座）
- 1) お茶で水分補給
 - 2) 好きな歌を聞く
 - 3) 課題（ひらがなマッチング）をする
- ・ 排尿を待つ（タイマーで2分計測）

- 【介入③】・ 排尿を待つ（タイマーで2分計測）
（洋式トイレ）
- 出ない場合は時間を置いて再度トイレの時間を設定

記録方法と記録：介入①

【標的行動】オマルで排尿することができる

【記録】オマルで排尿した回数, 排尿までの時間(分), エピソード

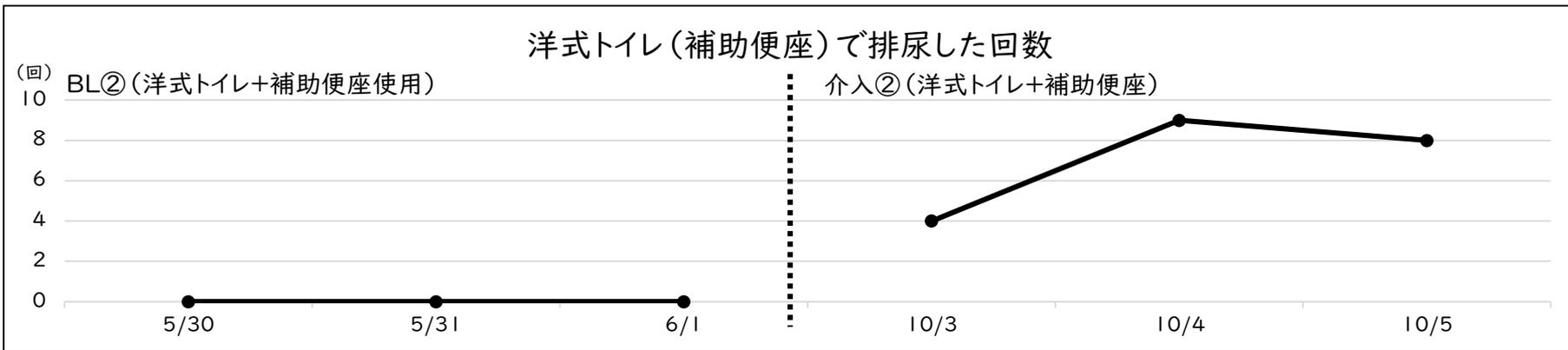


【様子】初回(7/19①)に強く拒否を示したのは、排尿の直前のみ。
尿意を感じてオマルでの排尿に拒否を示していたと考えられる。家庭でも初めてオマルで成功(お風呂前のタイミングのみ)。

記録方法と記録：介入②

【標的行動】洋式トイレ+補助便座で排尿することができる

【記録】洋式トイレ+補助便座で排尿した回数, 排尿までの時間(秒)

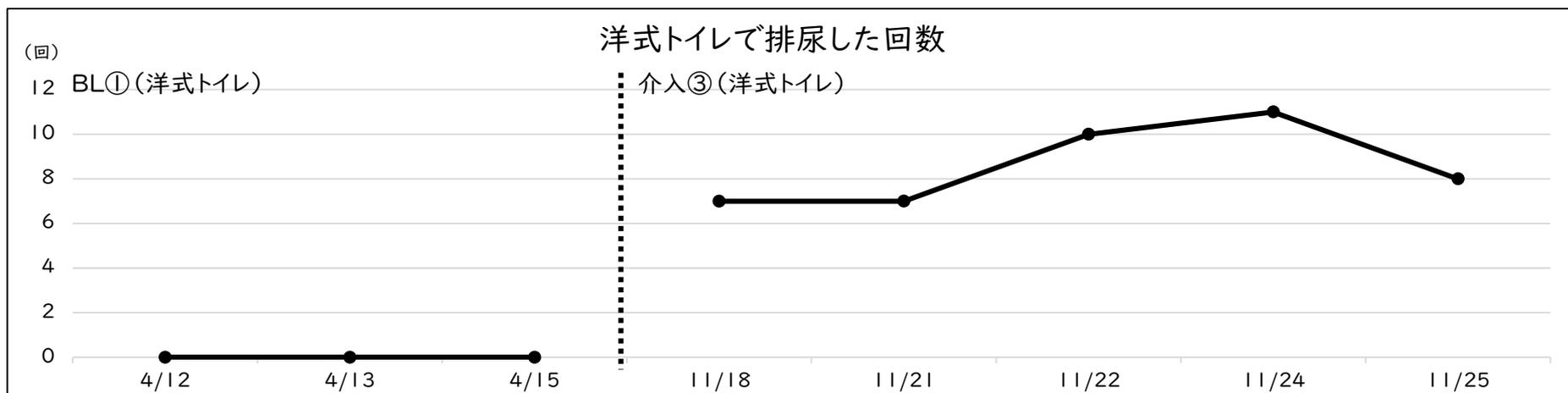


【様子】拒否を示したのは初回(10/3①)のみ。排尿後の処理(トイレトペーパーで拭く, 流す)も指導。家庭でもオマルでの成功が続く。

記録方法と記録：介入③

【標的行動】洋式トイレで排尿することができる

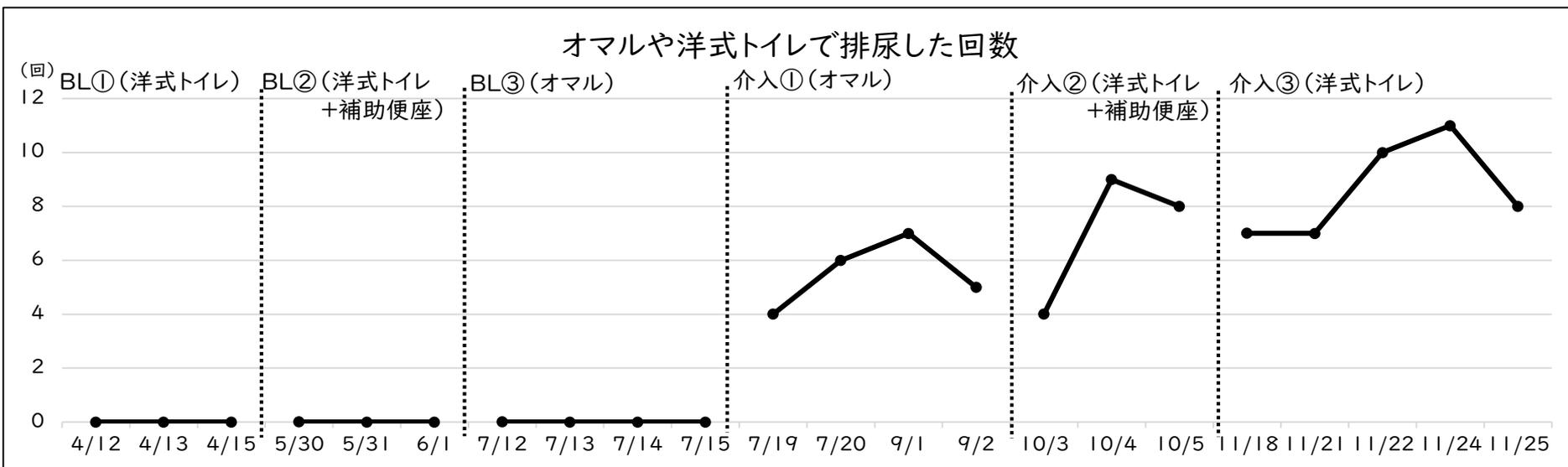
【記録】洋式トイレで排尿した回数



【様子】11/18は校外学習先の洋式トイレで指導を実施。立ち上がって拒否する姿が見られたが、トイレットペーパーを見せると自ら座って排尿することができた。その後、学校に戻ってからも拒否なく洋式トイレでの排尿に成功。教室外のトイレでも成功が続く。家庭では、祖父の家や外出先で洋式トイレのみの排尿に成功。

排泄後の処理に加えて、ズボンの裏返しを指導。続けて指導すると、自分から裏返す動きが増えてきた。

指導の成果



- 洋式トイレで排尿ができるようになった。
- スケジュールの「トイレカード」に自ら手を伸ばすことが増えており、その時は必ずトイレでの排尿が見られる（尿意を感じてトイレに行きたいとアピールしている?）。
- 教室のトイレ以外の場所（校内、外出先）でも排尿ができるようになった。
- 家庭でもオマルやトイレで排尿することができるようになった。

ここが成功のポイント

- オマルで初めて排尿した時に、大いに称賛したこと。
- アクシデント的に排尿が起きるような環境設定を行う際に、本児が楽しくトイレの中で過ごすことができるように工夫したこと。
⇒長時間のチャレンジが可能になった。
- 細かく記録をとり、担任同士で話し合いながら統一した指導を行ったこと。
- スケジュールへの理解が進み、落ち着いて活動できる時間が増えたこと。
⇒落ち着いた状態でトイレ指導することができた。

現在の指導

- トイレの自立を目指して、ズボンの裏返しや前後の確認、上靴の左右など、排尿後の一連の動作を指導中。2月上旬には声かけのみでできるようになった。
- オムツ(-), トイレ(+)になる回数が増えるように提示排尿を実施。一日のうち7~8割程度オムツ(-)トイレ(+)になっている。